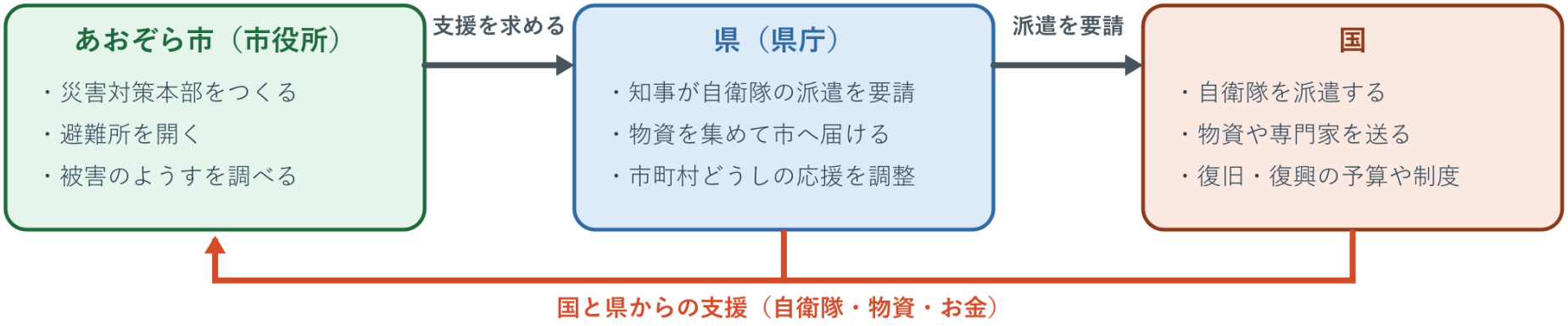
災害からの復旧・復興と国・県・市

災害が起きたとき、市・県・国はどのように協力しているか

架空の「あおぞら市」で大雨の災害が起きたとき



協力する人たち：消防・警察、ほかの市や県の職員、電気・水道・通信の会社、ボランティア

（市は、知事に自衛隊の派遣の要請を求めることができる）

救助・救援から復旧・復興へ（長い時間をかけて進む）

救助・救援　発生から数日
- 人を助け出す
- 避難所で水・食料を配る

復旧　数週間〜数か月
- 道路・電気・水道を直す
- 仮設住宅をつくる

復興　数年かけて
- 住まいを建て直す
- 災害に強いまちをつくる

¥ 費用には国・県・市の税金が使われる

※ 市の名前や流れは、説明のための架空の例。実際の手続きや期間は、災害の大きさや地域によってちがう。